

請願第3号 定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費

国庫負担制度の堅持及び拡充を求める請願書

討論

賛成討論 中野まさひろ 議員

今、学校では、コロナ禍で困難を抱える児童生徒への対応、GIGA スクール構想への対応、新学習指導要領による学習内容や授業時間数の増加等により、教員の負担が格段に増している。本年度の政府予算は、小学校高学年の教科担任制の推進と35人学級の計画的な整備等のために、教職員定数改善が盛り込まれたが、中学校における少人数学級の推進や「教職員定数改善計画」は示されず、教員の確保は困難が予想されている。少人数学級は、ひとり一人の子どもへのきめ細かな対応が期待され、少人数学級の更なる拡充を含めた「定数改善計画の早期策定・実施」が不可欠である。また、子ども達が、平等に一定水準の教育を受けられることが憲法の要請であるにもかかわらず、「三位一体改革」により、自治体の財政が圧迫され、同時に都道府県による格差が拡大している。義務教育費国庫負担制度の堅持とともに国庫負担率の1/2への復元が求められている。